

第2回 山岳トンネルの自動化施工等活用促進に向けた有識者会議 議事要旨

1. 日 時

令和8年3月18日（水） 14:00～15:00

2. 場 所

中央合同庁舎2号館 低層棟 共用会議室1

3. 出席者

〈座長〉

真下 英人 一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所長

〈委員〉

奥田 晃久 国土交通省 大臣官房 技術調査課長

建山 和由 立命館大学 総合科学技術研究機構 教授

七澤 利明 国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部長

西川 昌宏 国土交通省 道路局 国道・技術課長

信太 啓貴 国土交通省 大臣官房 参事官（イノベーション）

（代理：菊田 一行 国土交通省 大臣官房 技術調査課 施工自動化企画官）

松本 幸司 国立研究開発法人土木研究所 道路技術研究グループ長

（敬称略、五十音順）

4. 議事

（1）今回、ご議論いただきたい事項

（2）今後の進め方

5. 議事要旨

- ・令和7年度試行工事の技術向上提案テーマを踏まえ、令和8年度試行工事の技術向上提案テーマで求める作業項目は新たなものを選定することは問題ないと考えます。
- ・令和8年度試行工事の技術向上提案テーマの優先作業項目は、災害リスクの高い切羽や側壁近傍での作業や技術開発の熟度が高いものを優先とし、省人化効果の高い技術も対象とすることは問題ないと考えます。
- ・令和9年度以降の試行工事の技術向上提案テーマの選定にあたっては、トンネルの規模毎に切羽立入作業の作業内容と被災内容をよく確認した上で選定する必要があると考えます。また、一部の作業内容だけでなく、一連の作業を視野に入れた議論が望ましい。